

気象庁長官から感謝状を頂きました！

○当センター所属の漁業調査船「かいせい」が多年にわたる海洋観測の通報に積極的に協力し、気象業務の発展に寄与した功績として、6月1日の第147回「気象記念日」に気象庁長官から感謝状が贈呈されました。



山口県漁業調査船かいせい（125トン）



かいせい乗組員一同

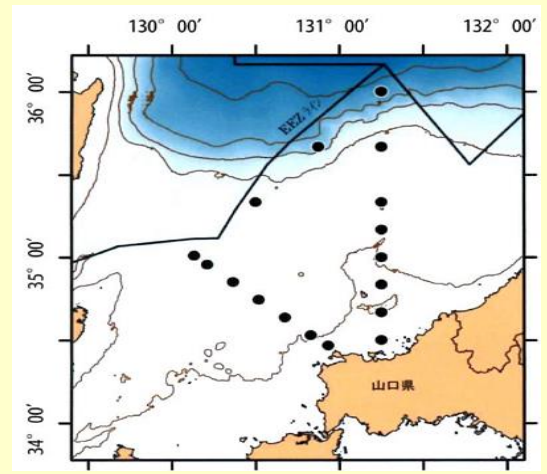
○水産分野における海洋モニタリングは、1963年（昭和38年）冬春期の異常低温を契機に、1964年（昭和39年）から水産庁及び都道府県水産試験研究機関による組織的な海洋観測が開始され、現在まで58年間にわたり継続されています。

○得られたデータは水産分野だけでなく、水産庁を通じて気象庁にも提供され、地球温暖化などの環境問題を議論する上でも、なくてはならない貴重なデータとして活用されています。

○今回、歴代の船員と研究員の永年にわたる海洋観測の実績がこのような形で評価されたことは大変喜ばしいことであり、今後も県下の漁業者の期待に応えられるよう観測業務を継続していきたいと思えます。



海洋観測の様子（水温塩分計測器を投入）



かいせいの海洋観測の定点

(企画情報室)